

組織としての文書番号を付していなければ空欄

令和 年 月 日

文化庁長官 殿

代表者氏名は、記名+押印としてください(印は代表者印)。

団体名 △△寺魅力発信プロジェクト協議会
 住所 ○○県○○市○○町3-2
 代表者職名 会長
 代表者氏名 ○○ ○○ 印

令和2年度 先端技術を活用した日本文化の魅力発信事業 (文化資源活用事業費補助金) 交付要望書

令和2年度 先端技術を活用した日本文化の魅力発信事業について、補助金の交付を受けたいので、関係書類を添えて下記のとおり要望します。

事業の名称	国宝「○○○○立像」ほかVR技術等を活用した魅力発信事業	
補助事業の着手及び完了の予定期日	着手 令和2年 ○ 月 1 日 完了 令和3年 3 月 31 日	様式1-4 収支予算書の交付要望額と同額。千円未満は申請できませんので自己負担額等で負担してください。
補助金の交付要望額	(補助対象経費)  円	

(ふりがな)	
担当者氏名	実務を担当(書類作成)している方の氏名を記載いただき、平日の日中に連絡がつく電話番号を記載してください。
連絡先 (TEL)	
" (FAX)	
" (E-MAIL)	
書類等の郵送先	
その他 (日中連絡先)	

<令和2年度事業計画書>

事業の名称	国宝「〇〇〇〇立像」ほかVR技術等を活用した魅力発信事業		
実施主体の名称	△△寺魅力発信プロジェクト協議会 (宗教法人△△寺)	種別	協議会・個人・地方公共団体 その他()
財政規模を示す指数	協議会、個人:事業規模指数 地方公共団体:事業規模指数を記	DMO の参画	有() 団体名:一般社団法人●●圏観光推進機構)・無
文化財保存地域活用計画等の有無	有()・無	<input type="checkbox"/> 市歴史文化基本構想(平成△年策定) <input type="checkbox"/> 市歴史的風致維持向上計画(平成△年認定) 国宝〇〇〇〇 保存活用計画(令和〇年)	

全体計画の概要	
宗教法人△△△△寺は、平安末期の彫刻様式を示す観音菩薩像で、●●の地において藤原三代による寺院造営にたずさわった仏師の手になるとされ代々伝わっている国宝「〇〇〇〇立像15軀」を所有している。また、重要文化財「△△△△4双」や庭園は特別名勝「□□□□庭園」に指定されている。近年訪日外国人観光客が多く訪問している中で、8体の修理を行っており観覧してもらえないが、VR技術により所有する国宝「〇〇〇〇立像」全てをシアター用のコンテンツを制作し公開する。 あわせて特別名称□□□□の奈良時代当時の様子を再現できるように、さらに絵画である重要文化財「△△△△4双」の高精細複製品を作成し、展示し、写真撮影スポットとして常時公開する。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; color: red; font-weight: bold;">年度内に公開・展示を行うコンテンツ等の制作概要について記載</div>	
同一年度に、連携して実施する観光旅客税事業	・国宝「〇〇〇〇立像15軀」磨き上げ事業
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; color: red; font-weight: bold;">国指定等文化財ごとにどのような先端技術を活用するか概要を記載する。</div>	
活用する先端技術①	
①で対象とする国指定等文化財及び所有者(管理団体)	
VR技術	国宝「〇〇〇〇立像15軀」 所有者:宗教法人△△寺
事業概要①	修理中の国宝〇〇〇〇についてVR技術を活用して紹介する映像を作成し、調査研究に基づいた仏像内部の状況を紹介します。制作当時の時代背景も含めた日本文化の発信コンテンツを作成する。
活用する先端技術②	
②で対象とする国指定等文化財及び所有者(管理団体)	
高精細複製技術	重要文化財「△△△△4双」 所有者:宗教法人△△△寺
事業概要②	第二次世界大戦中に消失した一部の絵画も含め前15双そろった高精細複製品を作成し××堂において展示し、写真撮影スポットとして常時公開する。
活用する先端技術③	
③で対象とする国指定等文化財及び所有者(管理団体)	
VR技術	特別名勝「□□□□庭園」 所有者:宗教法人△△寺
事業概要③	××文献に基づき特別名勝□□□□庭園において新年に毎年開催されていた△△宴を行っている様子をVRシアターで解説するコンテンツを制作し日本の文化の■行事の起源について理解してもらう。
※ 3つを超える場合は、行を追加してください。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; color: red; font-weight: bold;">事業概要、具体的な指標及び目標値の各欄で3つを超える場合は、適宜行追加してください。</div>	
時代考証の実施体制	
〇〇県歴史民俗博物館学芸員、〇×大学文学部教授より監修を受け解説部分の作成を行う体制をとっている。	

具体的な指標及び目標値	目標値の計測方法	H30 (基準年)	R2	R3	R4	R5	R6	R7
指標・目標値①	本事業で発信した国指定等文化財に来訪した外国人観光客数【必須】	入場料購入時にカウント	37,000人	45,000人	50,000人	53,000人	56,000人	60,000人
指標・目標値②	本事業で発信した国指定等文化財に来訪した外国人観光客の満足度(アンケート調査)【必須】	祝祭日20日間アンケート調査を実施	68%	70%	75%			
指標・目標値③	本事業で発信した国指定等文化財への年間入場料収入額(千円)	収支決算書	1,530	1,600	1,650	1,700	1,800	1,900

申請年の前年実績を基準として、事業終了から4年間で想定される目標値を記入してください。

<収支予算書>

区分		金額 (予定を含む。)	内訳	備考
収入の部	本事業以外の補助金・助成金	0	0	
	その他収入	0		様式1-6(⑧特別料金の徴収等について)にのみ記入
	小計(A)	0		交付要望額は千円未満の端数が出ないようにしてください。端数が出る場合は自己負担に入れてください。この値は1枚目の補助金交付要望額と同じになります。
	自己負担金(B)	23,455,000		
	本事業による補助金の交付要望額(C)	23,455,000		同額になるようにしてください。
①収入合計 (A) + (B) + (C)		46,910,000	0	同額になるようにしてください。

区分		総事業費	交付要望額	左記のうち自己負担額等
支出の部	総事業費	46,910,000	23,455,000	23,455,000
	主たる経費	46,910,000	23,455,000	23,455,000
	賃金	84,000	42,000	42,000
	共済費	0	0	0
	報償費	100,000	50,000	50,000
	旅費	10,500,000	5,250,000	5,250,000
	使用料及び賃料	90,000	45,000	45,000
	役務費	0	0	0
	委託費	33,500,000	16,750,000	16,750,000
	請負費	2,450,000	1,225,000	1,225,000
	備品購入費	0	0	0
	原材料費	0	0	0
	需用費	186,000	93,000	93,000

<支出内訳明細>

事業名称	経費内訳	総事業費	交付要望額	自己負担額等
国宝「○○ ○○立像15 軀」VR解説シ アターコンテ ンツ制作	【報償費】 企画会議有識者 10,000円×委員5名 50,000円(報償費内訳①) 【旅費】 VRシアター現地調査 一式 5,500,000円(旅費内訳①-1) 企画会議旅費 500,000円(旅費内訳①-2) 【委託費】 VRシアター制作委託 一式(見積番号①) 15,000,000円 【需用費】 消耗品費 50,000円(見積番号②)	21,100,000	10,550,000	10,550,000
重要文化財 「△△△△4 双」高精細レ プリカ制作事 業	【旅費】 重要文化財「△△△△4双」の文献調査一式 3,500,000円(旅費内訳②-1) 検討会有識者 500,000円(旅費内訳②-2) 【委託費】 高精細複製品制作委託 一式(見積番号③) 10,000,000円 【請負費】 会場警備・運営管理業務請負 一式 2,450,000円(見積番号④) 【需用費】 消耗品費 50,000円(見積番号⑤)	16,500,000	8,250,000	8,250,000
特別名勝「□ □□庭園」 往時の風景再 現	【賃金】 運営スタッフ 1,400円×60人/月 =84,000円 【旅費】 運営スタッフ旅費 500,000円(旅費内訳③) 【使用料】 打合せ会議 15,000円×6回=90,000円 【委託費】 アプリ制作委託 一式(見積番号⑥) 8,500,000円 【需用費】 消耗品費 86,000円(見積番号⑦)	9,260,000	4,630,000	4,630,000
合 計		46,860,000	23,430,000	23,430,000

費目ごとの執行内容が具体的に分かるよう、任意様式の別紙の内訳書を添付してください(報償費と旅費)。

様式1-3の事業概要①②③の事業ごとに経費の内訳を記入してください。3つ以上制作する場合は、行を追加してください。

※ 課税対象経費については、消費税率10%として記載すること。
 ※ 3つを超えて作る場合は、行を追加して制作する事業概要①②③の内訳を記載してください。

令和元年度 先端技術を活用した日本文化の魅力発信事業 コンテンツ等調書

①実施主体	△△寺魅力発信プロジェクト 協議会	②連携する事業者	一般社団法人●●圏観光推進機構
③事業名称	国宝「○○○○立像」ほかVR技術等を活用した魅力発信事業		
④活用する先端技術	VR技術		
⑤事業内容（文化資源を魅力的に発信・展示する具体的な手法、先端技術の具体的な活用方法、発信・展示等の効果の考え方、時代考証の考え方等を記載）			
<div style="border: 1px solid red; padding: 5px; color: red; font-weight: bold;"> 様式1-3で記載した活用する先端技術コンテンツごとに1葉作成する </div>			
⑥先端技術で活用する国指定等文化財の内容			
名称	国宝「○○○○立像15躯」	指定等	昭和○○年 国宝指定
名称	特別名勝「□□□□庭園」	指定等	平成○○年 特別名勝指定
名称		指定等	
⑦訪日外国人観光客に配慮した内容等			
<div style="border: 1px solid red; padding: 10px; color: red; font-weight: bold;"> 国際観光旅客税を財源とした事業であることを踏まえ、当該財源の主な負担者である訪日外国人観光客に対し還元できる取組があれば記載すること(コンテンツ制作とあわせて行う自主的な取組も含めて記載すること)。 </div>			
⑧特別入場料の徴収等について（単価及び収入見込額）			
収入	拝観料	500円×25,000人＝12,500,000円	収入
収入	VRシアター観覧料	1,000円×3,000人＝3,000,000円	収入
収入	シアター協賛金	1,000,000円	収入
⑨その他（制作したコンテンツの成果品を活用する計画がある場合は、その内容を記載）			
<div style="border: 1px solid red; padding: 10px; color: red; font-weight: bold;"> ・本事業で制作したコンテンツを別事業利用する場合、具体的に記載すること。 ・地元地方公共団体の観光政策において、本事業が関連している場合はその旨記載すること。 </div>			

※制作するコンテンツごとに提出してください。

実施体制の概要

(ふりがな) 名称	△△寺魅力発信プロジェクト協議会	(ふりがな) 代表者職名・氏名	宗教法人△△ 代表□□
所在地	〒000-0000 ○○県○○市○○町4丁目-2-1	電話番号	※※※※-※※-※※※※
		FAX番号	※※※※-※※-※※※※
構成員		構成団体	
○○○○ (宗教法人△△寺代表 ■■) ○○○○ (▲▲市立博物館学芸課長) ○○○○ (○×大学人文学部教授)		一般社団法人●●圏観光推進機構 ■■市観光協会	
組織図	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>△△寺魅力発信プロジェクト協議会</p> <p><u>構成員</u> 宗教法人△△寺代表 ●●●志</p> <p><u>構成団体</u> (一社)●●圏観光推進機構 ■■市観光協会</p> </div>		

協議会等が未設置であっても設置規則の案は提出すること。設置規則の内容が、定める補助事業者の要件を欠く場合は採択できません。

※ 協議会等の設置規則を併せて提出すること。

※ その他、本事業に協力することが可能な地域住民等による団体(例:自治会、町内会、公民館、NPO、文化財愛護団体等)を把握していれば、リストを提出すること(様式自由)。

宛名は協議会の場合は構
成員や構成団体とします。

様式 2 - 2 (記入例)

見積番号①

見積書

■■ 殿

について、下記のとおりお見積もりします。

令和 年 月 日

印

金 0 円

事項	金額	備考
合計	0	

- ※ 人件費は、内訳を記入してください。
- ※ 単価は「各費目における単価上限、補助対象経費」によるものとしてください。
- ※ 使用料、借料、再委託費、消耗品などについては、内訳明細を添付してください。
- ※ 発注予定金額が10万円(税込)以上の場合、見積書を添付すること。
- ※ 発注予定金額が100万円(税込)以上の場合、複数者から見積を徴してください。複数者から見積書を徴することができない場合は、理由書(任意様式)を添付してください。

令和 2 年度 先端技術を活用した日本文化の魅力発信事業 成果報告書

①実施主体		②連携する事業者								
③事業名称										
④活用した先端技術										
⑤設定した指標・目標と 2 年度の達成状況										
指 標		測定方法		設定した目標値				実績値		
本事業で発信した国指定等文化財に来訪した外国人観光客数【必須】		入場料購入時のカウント		2年度	45,000人	6年度	60,000人	→	2年度	40,000人
本事業で発信した国指定等文化財に来訪した外国人観光客の満足度(アンケート調査)【必須】		祝祭日20日間でアンケート調査を実施		2年度	70%	6年度	90%	→	2年度	80%
本事業で発信した国指定等文化財への年間入場料収入額 (千円)		収支決算書		2年度	1,600	6年度	1,900	→	2年度	1,900
⑥事業成果の概要 ※令和 2 年度に実施した事業の実施状況を記載してください。										
計様式 1-3 で記載した指標・目標値・目標値の測定方法をそのまま記載してください。					測定方法に基づき集計した実績値を記載してください。					
⑦事業実施による効果等の検証・分析結果及び今後の見通し ※令和 2 年度事業実施により得られた効果や実施以後の状況 (人数などの指標の基づき、定量的・定性的な効果) 及び今後の目標達成の見通しを具体的に記載してください。										
計画を実施することにより、どのような効果・成果を得られたかについて、人数などの指標に基づき、定量的・定性的な効果を具体的に詳細に記載してください。										
⑧補助事業実施による令和 2 年度収入とその用途										
1	収入	拝観料	500円×25,000人=12,500,000円	用途	国宝「○○立像」維持管理費					
2	収入	VRシアター観覧料	1,000円×3,000人=3,000,000円	用途	VRシアター運用経費等					
3	収入	シアター協賛金	1,000,000円	事業実施により改定又は新たに徴収することとなった収入項目とその用途を記入してください。 ※文化財の保存と活用に資する経済の好循環を意識して計画してください。						
⑨担当者連絡先										
ふりがな										
担当者氏名										
TEL					FAX					
E-mail										
住所 実務を担当(書類作成)して方の氏名を記載いただき、平日の日中に連絡がつく電話番号を記載してください。										

※ スペースが足りない場合は、行の幅を変更しても差し支えありません。
 ※ 項目を追加する場合は行を追加してください。